

令和元年度 横須賀法律行政専門学校 自己評価報告

1. 教育理念(教育目標)

- (1) 高品質・高信頼なサービスを提供するため、行政・法律に関する知識・見識を構築する
- (2) 多様な課題を解決する施策・方策を起案するため、論理的な文章作成能力を養成する
- (3) 社会への奉仕者として慈愛の精神を培うため、豊かな人間性を涵養する

2. 教育目的

法律・行政並びにビジネスに関する専門知識及び理論を習得させ、職業若しくは实际生活に必要な能力の育成と教養の向上を図る

- 行政事務コース 国家公務員・地方公務員などを目指す
- 警察官・消防官コース 公安系公務員を目指す
- 基礎教養コース 社会人として必要な基礎力を身に付ける
- 総務・経理コース 民間事務職を目指す

3. 評価項目の達成および取り組み状況

(1) 教育理念、目的、人材育成像

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
教育理念・教育目的	教育理念(教育目標)・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
	教育目的は定められているか	④	3	2	1
	学校における職業教育の特色は明確か	④	3	2	1
	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	③	2	1

①現状

教員と学生募集スタッフが連携し、入学希望者の教育環境・家庭環境を鑑み、社会ニーズに合わせた人材育成を心掛けている。

教育理念および教育目的については、入学案内、学校生活の手引きに明記し、入学前後に生徒・学生および保護者には伝えている。

②課題

入学案内および公式 Web サイトには記載してはいるが、入学前に来校しない生徒および保護種への周知が十分に行えるか。

③改善方策と今後の取り組み

学生については、入学ガイダンス後に個別面談を行い個別に確認を行っていく。保護者に対しては、学生に配付している学生生活の手引きを学生とともに確認いただくよう働きかける。

④特記事項

入学前に公式 Web サイトを活用し周知徹底できるようなコンテンツの作成を検討する。

(2) 学校運営

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
事務組織・ 意思決定機関	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
	運営組織や意思決定機能は、効率的か	④	3	2	1
	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
諸規定の制定	人事・給与に関する制度は整備されているか	4	③	2	1
	人事・給与に関する制度の定期的な見直しはされているか	4	3	②	1
学則・内規等の整備	学則等の定期的な見直しはされているか	④	3	2	1
防犯対策	学生及び文書・備品等を守るための防犯対策は整備されているか	4	3	②	1
	教職員の防犯に対する認識は徹底されているか	4	3	②	1
	安全計画・消防計画は作成されているか	4	③	2	1
個人情報の保護	個人情報保護法は遵守されているか	④	3	2	1
	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	②	1
	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
	情報システム化による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①現状

理事会・評議員会にて運営方針の確認・承認を受け、業務を進めている。

学校規模が小さいことで無駄が少なく、確認事項・検討事項は、迅速に教職員全員で話し合いが可能である。

諸規定の制定については、外部理事の指導のもと、他専門学校の規定を参考に見直しを行っているが、改定はされていない。

学校安全管理マニュアルはあるが、文書・備品についての対策は十分ではない。

学籍状況、出席状況、成績評価等の学生個人情報については、一元管理できるよう整備している。

②課題

校名変更後の教職員の変動がなく、以前の学校運営を継承してきたが、現状の運営に合わせた見直しが必要である。

③改善方策と今後の取り組み

令和2年度に、現在の教務ファイルサーバの入れ替えに伴い、現行の学則、諸規定・制度などの文書を見直し・確認し、再整備を実施予定である。

④特記事項

教務ファイルサーバの入れ替え稟議

(3) 教育活動

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
カリキュラム	教育目標・育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1
	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
	カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
教科の指導	シラバスの作成、学生への提示はされているか	4	③	2	1
	教育方法の工夫・研究の取り組みはされているか	4	③	2	1
資格試験	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
	不合格者への対応はされているか	④	3	2	1
成績評価	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
	成績不良者への対応はされているか	④	3	2	1
教職員の組織	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
	担当業務の内容と全体のバランスはとれているか	4	③	2	1
	関連分野における知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
	職員に必要な知識等を修得するための研修等が行われているか	4	3	②	1

①現状

3月には当年度の授業カリキュラムが適切であるかを見直し、次年度カリキュラムに反映している。年間行事に関しても、時期や内容を臨機応変に対応できる体制になっている。

1年間を4セグメントに分け、授業の進捗度や学生の理解度を確認しながら、放課後や長期休業を活用し、個別対応できるような体制を整えている。カリキュラムを改定後、現在授業内容の見直しをしつつシラバスを作成中。

教員が学生と接していく中で、発見された課題は常に教職員が共有し、クラス替えや補講など個別指導を行っている。放課後や長期休業を活用して個別指導を行っている。

小規模学校のため、担当を細分化するのではなく、全員で連携しながら業務を行っている。

限られた教職員体制で業務を運営しているため、内部研修は実施する余裕がない。外部研修の機会があれば、積極的に参加するよう促している。

②課題

自己啓発しやすい環境にはあるが、内部研修ができればなおよみが現状難しい。

③改善方策と今後の取り組み

教職員の自己啓発活動について、報告する機会を設け、他の教職員が参考にできる仕組みを検討する。

(4) 教育成果

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
在学者・中退者の状況	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
	退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
	理由別退学者の状況を把握しているか	④	3	2	1

①現状

母数である学生数が少ないため、就職率や資格取得率ではなく、希望する仕事や職種に就けるよう個別指導を重視している。年度によってばらつきがあるが、学生の意思を尊重し、就職率向上を心がけている。

現在は、卒業を目指すのではなく、就職することを目標にしているため、在籍中に採用決定や進路変更が発生している。それ以外の、長期休業者や退学者には連絡を取り続け進路相談に応じている。

②課題

就職率、資格取得率、退学率は、母数となる学生数が少ないため学生 1 人の状況によって値が大きく変動してしまう。割合で評価できるような学生数の確保が大きな課題である。

③改善方策と今後の取り組み

現行の学生の在籍状況では、個別に丁寧な対応を心掛け、進路に迷うことのないように、進路を決めずに学校から退くことのないように、また、就職率や退学率ではなく、入学者に対する進路決定率を重視し、学生指導に努める。

(5) 学生支援

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
進路・就職対策	進路・就職相談を実施しているか	④	3	2	1
	卒業後の進路調査の徹底はされているか	4	3	②	1
学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
	相談者の守秘義務を徹底しているか	④	3	2	1
経済支援・健康管理	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	奨学金制度は整備されているか	④	3	2	1
	奨学金貸与者の推移を把握しているか	④	3	2	1
	学生の定期健康診断を実施しているか	④	3	2	1
	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援対策	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

①現状

担任制をとっているため、常に相談できる体制が整っている。教員側からも、頻繁にヒアリングを実施している。

卒業生が学校を訪れ、所属の変更などの度に連絡をくれるので、現時点で卒業生の状況は把握できている。

全教職員が学生の状況を把握している旨を事前に学生には伝え、教職員で情報共有しているが、個人的な相談については相談を受けた者が守秘義務を厳守している。

面談をし、個々の状況に応じたアドバイスをしている。保護者からの相談や学生の状況等時間をかけて対応している。

入学前から保護者との連携を大切にし、入学後も気軽に相談できる体制を整えている。

卒業後も必要に応じて転職相談、資格取得等個別に対応している。希望者に対しては、手厚い対応をしている。

②課題

定期的に卒業後の進路調査を行う仕組みや制度が整備されていない。

③改善方策と今後の取り組み

卒業生の進路先については、個々に状況を把握できているため、現状で問題ない。

(6) 教育環境

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
施設・設備	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	②	1
	教室・実習室の面積は適切か	④	3	2	1
	自学・自習室はあるか	④	3	2	1
	バリアフリー化への着手・状況を把握しているか	④	3	2	1
	各室の安全性・衛生面は考慮されているか	④	3	2	1
	卒業生への利用希望への対応はされているか	④	3	2	1
機材・備品	教育用機器備品の整備はされているか	④	3	2	1
	視聴覚・情報機器の整備はされているか	4	3	②	1
	機材・備品の使用頻度を把握しているか	4	③	2	1
課外授業・学校行事	学校行事等による学生間・学年間の連帯意識の育成はされているか	④	3	2	1
	学校行事等による学生間・教職員間の連帯意識の育成はされているか	④	3	2	1
危険管理と危機管理	担任制による学生への対応の徹底と認識がされているか	④	3	2	1
	授業内に発生した事故への適切かつ迅速な対応がされているか	④	3	2	1
	防災の対応マニュアルの作成と適切な対応がされているか	④	3	2	1
	防災訓練等による学生への防災対策の周知はされているか	④	3	2	1
	教職員への危険・危機管理を周知徹底しているか	④	3	2	1

①現状

貸出図書等は職員室内に整備し、いつでも活用できるようになっている。情報収集に必要なパソコン、インターネット環境は1人1台使用できるよう整備している。卒業生も自由に利用することができ、卒業生が出入りする事で、在校生への良い刺激になっている。放課後や休憩時間に、健康維持、体力強化できるトレーニングルームを持っている。

年に数回のリクリエーションや特別講座を活用した課外授業(裁判所見学等)を実施している。企画段階から学生も参加するため、自然と連帯意識が育成される。

消防計画・学校安全管理マニュアルに沿って、年に2回防災訓練を実施している。

②課題

設備の経年劣化に対する対応が現状に追いついていない。全室無線LANの整備など次世代教育に向けてICT環境を整える必要がある。

③改善方策と今後の取り組み

対面学習のみならず、リモート学習の導入を検討し、必要な環境整備に努める。

(7) 学生募集

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		4	3	2	1
学生募集広報	学生募集活動は適切に行われているか	4	③	2	1
	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①現状

定期的に近隣の高校に対し学校訪問を行い、生徒からの相談に対して生徒本人だけでなく、高校教諭との連絡も密に行っている。学生数の入学定員に対する充足率から見ると、学生募集は十分であるとは言えない。

②課題

駅近くなのに、まったく目立っていないという指摘が外部のものからある。

教育成果については入学案内を改訂し、学生生活や就職実績などを盛り込んでいるが、Web や SNS を活用した最新情報の発信が不十分である。

③改善方策と今後の取り組み

在校生の協力を仰ぎ、学生目線で情報発信していくことを検討する。また、学生募集業者からの提案を参考に迅速な対応を心掛ける。

(8) 財務

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		4	3	2	1
財務状況	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	②	1
監査	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①現状

入学者の確保が不十分なため、予算・収支計画に苦慮している。

②課題

学生数が少ないため、収支のバランスが悪い。

③改善方策と今後の取り組み

学生募集の強化策を講じる。

(9) 法令遵守

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
法令遵守の状況	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
適切な学校評価の取組	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	②	1
	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	①

①現状

個人情報保護方針、個人情報保護規定に沿って対策している。少人数で、問題点の共有が容易なため、文書化するという手段をとっていない。

②課題

問題があれば、その場で確認していることが多く(教職員の数が少ないので問題の把握が容易)、その後、教職員間で共有できる文書化のルールや環境整備ができていない。

③改善方策と今後の取り組み

職員室内のファイルサーバの入れ替えに伴い、文書化のルールを整備する。

学校評価については、令和元年から本格的に着手し、令和 2 年より外部評価を行い、評価結果を公開する。

(10) 社会貢献／国際交流

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
社会貢献等の取組	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	④	3	2	1
	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	④	3	2	1
国際交流の状況	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2	①

①現状

小中学生や高校生が参加できる講座を開設している。その他社会人向けの講座やセミナーなども開講している。

学生は、授業(特別講座)の一環として、赤い羽根共同募金に参加している。また、親子で参加できる地域活動への参加を呼びかけ、お手伝い・協力支援を促している。

②課題

学校側からの支援要請が中心で、学生主体の社会貢献活動が行われていない。

③改善方策と今後の取り組み

2年次学生が中心となって、1年次学生に声掛けをし、学生が主体となって活動できる機会を設ける。